

事務事業マネージメントシート

作成日 平成29年05月15日

事務事業名	施設入所支援事業	担当	健康福祉部　社会福祉課　障害者福祉係
政策名	C 思いやりと安心に満ちたみんな元気なまちづくり	電話番号	0285-83-8129
施策名	3 障がい者の自立と社会参加の支援	<input type="checkbox"/> 実施計画上の主要事業	
関連個別計画			
法令根拠	障害者総合支援法、同施行規則（市規則）		
予算科目	1.一般会計	3.民生費	1.社会福祉費 1.社会福祉総務費
事業概要	<p>生活介護または自立訓練若しくは就労移行支援の対象者に対して、夜間や休日、入浴、排せつ、食事の介護等を行う（自立訓練、就労移行支援については単身での生活が困難な者、通所が困難な者とする）。</p> <p>利用者は、サービス料の1割を負担する（事業所へ支払う）。</p> <p>国県負担金 国1/2・県1/4</p>		

1. 現状把握の部 (1) 事務事業の目的と指標

①手段（主な活動）			⑤活動指標（事務事業の活動量を表す指標）の推移											
28年度実績 申請を受けて、障がい者の身体状況を調査し、障害支援区分審査会で障害支援区分及び認定期間を認定する。障害支援区分と勘案事項を基に支給期間・支給量・利用者負担額の決定する。受給者証の交付を受け利用者が事業所と契約してサービスを開始する。			名称		単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(見込)				
			ア 事業申請者数		人	88	74	79	76	80				
			イ											
			ウ											
			エ											
			オ											
29年度計画 前年度と同様			⑥対象指標（対象の大きさを表す指標）の推移											
②対象（誰、何を対象にしているのか）＊人や自然資源等			名称		単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(見込)				
身障・療育・精神手帳所持者			ア 身障・療育・精神手帳所持者		人	3,737	3,609	3,804	3,737	3,812				
			イ											
			ウ											
			エ											
			オ											
③意図（この事業によって、対象をどう変えるのか）			⑦成果指標（対象における意図された対象の程度）の推移											
障がい者が、夜間や休日、入所施設において、入浴・排せつ・食事の介護等を受けられるようにする。			名称		単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(見込)				
			ア 事業利用者数		人	88	74	79	76	80				
			イ 延べ利用日数		日	27,186	25,941	27,769	26,443	29,200				
			ウ											
			エ											
			オ											
④結果（どんな結果（上位施策）に結びつけるのか）			⑧上位成果指標（結果の達成度を表す指標）の推移											
障がい者の自立と社会参加を支援する。			名称		単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(見込)				
			ア 支援を受けて社会参加を図った障がい者の割合		%	100	100	100	100	100				
			イ											
			ウ											
			エ											
			オ											
(2) 総事業費の推移			単位	25年度(実績)		26年度(実績)		27年度(実績)		28年度(実績)		29年度(見込)		
投 入 量	事 業 費	国庫支出金	千円	53,202		47,354		48,966		54,474		59,276		
		県支出金	千円	26,601		23,677		24,483		27,237		29,638		
		地方債	千円	0		0		0		0		0		
		その他	千円	0		0		0		0		0		
		一般財源	千円	26,602		23,677		24,483		27,237		29,638		
事業費計（A）			千円	106,405		94,708		97,932		108,948		118,552		
人 件 費	正規職員従事人数		人	2		2		2		1		1		
	延べ業務時間		時間	140		140		140		210		210		
	人件費計（B）		千円	569		591		587		872		872		
トータルコスト(A)+(B)			千円	106,974		95,299		98,519		109,820		119,424		
(3) 事務事業の環境変化・市民意見等														
①この事務事業を開始したきっかけは何か？いつごろどんな経緯で開始されたのか？			平成18年10月から、障害者自立支援法に基づく介護給付の1つのサービスとして実施することとなった。											
②事務事業を取り巻く状況（対象者や根拠法令等）はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？			平成22年4月から、障害者自立支援法の一部改正により、低所得（市町村民税非課税）者の自己負担が無料となった。 平成25年4月から、「障害者自立支援法」が「障害者総合支援法」となった。 平成26年4月から、「障害程度区分」が「障害支援区分」となった。											
③この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者等）からどんな意見や要望が寄せられているか？														

2. 1次評価の部 *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的妥当性評価	①政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は、市の政策体系に結びつくか? ・意図することが結果（上位施策）に結びついているか?	<input type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 障がい児・者に対して、施設において、介護等を行なうことは、障がい児・者の自立と社会参加の支援に結びつく。
	②公共関与の妥当性 ・なぜこの事務事業を市が行わなければならないのか? ・税金を投入して達成する目的か?	<input type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 障害者総合支援法に定められているので妥当である。
	③対象と意図の妥当性 ・対象を限定・追加すべきか? ・意図を限定・拡充すべきか?	<input type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある 障害者総合支援法に定められているので、適切である。
有効性評価	④成果の向上余地 ・成果を向上させる余地はあるか? ・成果の現状水準とあるべき水準の差異はないか? ・何が原因で成果向上が期待できないのか?	<input type="checkbox"/> 向上余地はない <input type="checkbox"/> 向上余地がある 障害者総合支援法に基づく事業なので、向上の余地はない。
	⑤廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	<input type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない 障害者総合支援法に定められているので、廃止・休止はできない。
	⑥類似事業との統合や連携の可能性 ・他に、類似の形態の事務事業はないか?	<input type="checkbox"/> 類似事業がある（類似の事務事業名を記載） <input type="checkbox"/> 類似事業はない
	・類似事業がある場合、その事業と統合したり連携を図ることができるか?	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携ができる <input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携できない
効率性評価	⑦事業費の削減余地 ・成果を下げずに事業費を削減できないか? (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 障害者総合支援法に基づき行なっているので、事業費の削減はできない。
	⑧人件費（延べ業務時間）の削減余地 ・やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか? ・成果を下げずにより正社員以外の職員や委託でできないか (アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 必要最小限の人員で対応しているので削減できない。
公平性評価	⑨受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏って不公平ではないか? ・受益者負担が公正・公平になっているか?	<input type="checkbox"/> 公正・公平である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 障害者総合支援法に定められているので、公平・公正である。

3. 改革・改善方向の部

(1) 改革の方向性（改革案・実行計画） <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 見直し (<input type="checkbox"/> :目的妥当性 <input type="checkbox"/> :有効性 <input type="checkbox"/> :効率性 <input type="checkbox"/> :公平性) <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 継続	(2) 改革、改善を実現する上で克服すべき課題は何か？それをどう克服していくか？	(3) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th colspan="2"></th> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上																								
	維持																								
	低下																								

4. 事務事業の2次評価結果（事業の総括と事業の方向性）

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合 <input type="checkbox"/> 記述説明不足（説明責任不充分） <input type="checkbox"/> 評価内容が客観性を欠く <input type="checkbox"/> 評価内容は客観的と言える	(2) 2次評価者としての評価結果 <table border="1"> <tr> <td>①目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td><td>②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td></tr> <tr> <td>③効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td><td>④公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td></tr> </table>	①目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	③効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	④公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	(5) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th colspan="2"></th> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
①目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																												
③効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	④公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																												
		コスト																											
		削減	維持	増加																									
成果	向上																												
	維持																												
	低下																												
(3) 2次評価者として判断した今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的絞込み <input type="checkbox"/> 目的拡充 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 予算増大 <input type="checkbox"/> 現状維持（従来通りで特に改革改善をしない）																													
(4) その他2次評価会議で指摘された事項																													